

●日 時

令和5年7月20日（木） 10:00～12:05

●場 所

野洲市役所本館2階 第5会議室

●出席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：上田 洋平委員

2号委員：市木 繁和委員、立入 幸基委員、林 かずみ委員

3号委員：恩地 衛委員

4号委員：辻村 琴美委員（オンライン）

●欠席委員

田中 勝也委員、荒川 博行委員、中島 智栄子委員

●事務局

布施政策調整部長、小池政策調整部次長、玉川企画調整課長、中野企画調整課長補佐、
中江企画調整課専門員

<会議概要>

1. 開会

2. 挨拶

3. 委員紹介

4. 議事

（1）第2次野洲市総合計画・総合戦略施策評価（令和4年度分）について

…第2次野洲市総合計画に基づく24施策及び、総合戦略に基づく2事業について評価を行った。委員からの主な意見は以下の通り。

○委員からの主な意見・質問

1-1 子育て支援の充実 p4

【委員】成果指標「待機児童数（学童保育所）」について、北野学区は、行政、学校の配慮でなんとか対応できているが、3か所に分かれた状態になっているので、指導員の配置等気になっている。また、主要事業の学童保育所の運営について、「夏休み中の昼食を3回実施した」、とだけ記載されているが、これに関して問題点を注記いただければ令和5年度の対応もしやすかったのではないと思う。「回数が増やせるように検討を行う」と記載されているが、実態としては非常に難しい。

【委員】保育人材バンク事業について、今後の対応として関係団体との協働を広げていただきたい。また、学童の夏休みの給食導入など、今できていないことを、市の負担だけではなく様々な関係団体と協力してやっていくという方法もあるのではないと思う。

1-2 青少年の健全育成 p5

【委員】成果指標「少年センターの相談件数」について、3件しか増えていないのになぜaとし

ているのか。また基準値から大幅に減っている理由はあるのか。

→【事務局】コロナの影響等を含めて、なぜ件数が減ったのかももう少しわかりやすい表記にする。進捗度は、令和7年度には目標が達成できるという見込みからaとしている。

【委員】子どもの居場所づくりのリーダーの担い手育成について、どのようなことをしているのか記載があるとわかりやすいと思った。

1-3 学校教育の充実 p6

【委員】主要事業の「地域に開かれた学校事業」について、コミュニティ・スクールの導入は良いことだと思う。地域のことを研究している人を投入して、学習意欲を高めるようなスクールになることを期待している。

【委員】主要事業の「地域に開かれた学校事業」について、学校運営協議会が設置されたことでsというのは評価が高いのではないかと。また、ボランティア（学校応援団）の方の参加状況や人数などが記載されていると良いと思った。

学力向上推進事業についても、水泳授業の引率にボランティアが協力しているので、関係団体のところに記載があっても良いのではないと思う。

→【事務局】関係団体への記載については確認する。主要事業のsは、進捗度を示しており、事業が完了したということを表している。

→（確認後）関係団体について、ボランティア団体を含めると、その他多くの事業についても記載することになってしまうことから、今回ボランティア団体についての記載はしない。

1-4 生涯学習・生涯スポーツ・文化芸術の推進 p7

【委員】成果指標「主要スポーツ施設の利用者数」について、健康スポーツセンターの利用状況はどうか。

→【事務局】担当課に確認する。

→（確認後）令和2年度（7/15 開所） 39,984 人、令和3年度 58,358 人、令和4年度 67,060 人

【委員】成果指標「図書館の利用者数」について、取組内容や課題等記載されているが、昨年利用者アンケートを実施されていると思うので、コロナ禍で利用者は減少しているものの今後の活性化にどう工夫していけば良いか積極的に市民に聞いているという姿勢を書いた方が良いのではないかと。それに対応して今後、課題改善点に取り組んで行く、とつながるように書けると良いと思った。

【委員】主要事業「文化芸術に親しむ機会の充実」について、文化芸術がどれだけ野洲市に浸透しているのか、と考えると、野洲市の歴史文化をリスペクトするという意味で、市政の上位にしてほしい。

2-1 健康づくりの推進と地域医療体制の整備 p9

【委員】成果指標「特定健診受診率」の向上について、今後の対応として、関係団体を増やし、コロナワクチンの集団接種のように商業施設での受診ができるようになれば良いと思う。

【委員】成果指標「喫煙率（女性）」について、目標値が達成できているのでsで良いのではないかと。

→sに変更しました。

2-2 高齢者がいきいきと暮せるまちづくり p10

【委員】成果指標「小地域ふれあいサロンの数・実施回数」のサロン数について、申請されている数は77だが、実際にはもっと実施されている。個人的にはaでも良い気がするが、数字で判断するのであればbでやむを得ない。

【委員】成果指標「小地域ふれあいサロンの数・実施回数」のサロン数について、今年度から支援制度が変わったので、サロン数は変わらないが、実施回数は増えると思う。

2-3 障がい者・児福祉の充実 p11

【委員】成果指標「指定特定相談支援事業者数」について、数字的には目標値が達成できているのでsとなっているが、課題・改善点にも記載されているように、サービス等利用計画（案）の遅延があるのにsというのはどうかと思う。数字上は達成しているので問題はないが。

→【副委員長】課題・改善点については「今後の対応」でどう取り組んで行くのか記載していただくということで対応をお願いしたい。

【委員】成果指標「早期療育通園事業「にこにこ教室」利用児数」について、進捗度がbとなっているが、令和5年8月に新センターが開設されることで目標の達成が見込めるのであればaでも良いのではないかと思う。

→【事務局】コロナの影響を考慮して、数字が前年から横ばいでもaとした指標もあるが、基本的には令和4年度の数字で判断したいと考えている。

2-4 地域福祉の推進 p12

【委員】成果指標「地域福祉を推進する市民交流や懇談会の回数」について、目標値は年2回以上とあり、取組内容のところは年5回の開催目標に対し、という記載がありわかりづらい。また、目標値が年2回以上というのは設定が低い気がする。

→【事務局】令和4年度の目標が5回以上ということで担当課は記載しているが、わかりにくいので表現を変える。

【委員】〇回以上開催する、と回数だけを目標にするとマンネリ化するので、今後の対応として、テーマも工夫いただきたい。

2-6 消費者行政・防犯対策の充実 p14

【委員】成果指標「消費生活相談窓口数」の課題・改善点に「現状を鑑み」という記載があるが、「〇〇などの現状を鑑み」と記載された方がわかりやすいと思う。

また、主要事業の消費者行政推進事業について、最近増えているインターネット等SNSによるトラブルへの取り組みもやっていかないとけない、という意識があっても良いかと思った。

【委員】成果指標「消費生活相談窓口数」について、目標値が2か所となっているが、どこかを想定していたのか。

また、主要事業の「地域安全センターを中心とする活動の充実」について、進捗度がbとなっているが、その理由は。

→【事務局】相談窓口数については、総合計画策定当時、北部合同庁舎に設置する予定だったため2か所としている。主要事業については、成果指標の犯罪発生率が下がっていない状況等を考慮し、もう少し活動を充実させる必要があるとしてbとした。

3-1 商工業の振興 p15

【委員】主要事業「創業支援事業」の課題・改善点の記載内容について、補助金サポートがなかったから、創業者が少なかったのか、因果関係はあるのか。ほかに理由があればそれも記載してはどうか。

→【事務局】担当課に確認する。

→（確認後）因果関係はないので、表現を改める。

創業者が少ない理由について、受講後、数年後に創業されるケースもあり、すぐに創業しない理由は人それぞれ様々であるため、一概に言えない。

3-2 農林水産業の振興 p16

【委員】成果指標「認定農業者の法人化数」について、課題・改善点で法人化は非常に困難であると記載されているのに、進捗度 a とするのは甘いのではないかと思う。

→【事務局】bに変更しました。

3-3 地域資源を生かした観光の振興 p17

【委員】主要事業「観光情報発信事業」で作成された市の観光 PR 動画を私は見たことがない。今後の対応として、作成されたものを市民に共有していただきたい。

3-4 歴史文化遺産の保全・活用 p18

【委員】成果指標「国・県・市指定文化財件数」について、件数が増えていないのに a というのは、達成できる見通しがあるのか。

→【事務局】担当課において、情報収集を行い、達成に向けて進めていると判断してこの進捗度になっている。

4-6 公共交通の利便性の向上 p24

【委員】成果指標「コミュニティバス利用者数」について、利用者数が増えた理由は。

→【事務局】担当課に確認する。

→（確認後）利用者増加の要因について、今までは高齢者、障がい者の方の利用が多かったが、コミバスが認知されたことにより一般の方の利用が増えていると考えている。

また、利便性の向上を目指し一つの路線を乗り継ぐ事が出来る乗継制度の新設や、令和2年7月、令和3年10月のダイヤ改正を実施したことも影響しているものと考えられる。

【委員】課題・改善点について、バス利用者数を増やすことで解決できることもあるので、そういった視点で記載されてはどうか。今乗っていない人に乗ってもらえるような工夫を考えていただきたい。

5-2 市民との情報共有の推進 p26

【委員】実際に市への手紙に投稿したことがどのように対策として反映されているのかわかるようなフィードバックを今後の対応の中で教えていただけたら、と思う。

→【副委員長】新たな通信手段や情報技術ができていの中で、様々なやり方で共有する重要性が増している。件数が減っているので、アプローチの仕方や窓口のあり方を検討してい

なければならないということかもしれない。

5-3 効果的・効率的な行財政運営 p27

【委員】主要事業「ふるさと納税の活用」について、高額の寄附をいただいているが、現在は1企業の返礼品に対して多額の寄附がある。企業の都合でそれがなくなる可能性もゼロではないので、本来の予算の中に組み込むのではなく、基金に積んで、どのように使っていくのかをはっきりしてもらおうと安心する。

第2期総合戦略に関する事業の評価（1. 地方創生推進交付金事業について） p29

【委員】この事業の評価を観光入込客数で評価して良いのか。

【委員】人数が増えた大きな要因は大型施設のオープンであると総合計画の資料には記載されていたが、ここに記載がないのは違和感がある。

→【事務局】内部評価の際にも同様の意見があった。総合戦略に掲げている成果指標で評価することになるので、一番近いのはこの成果指標となる。

→【委員】大型施設の客数を差引して評価することも検討いただきたい。

→【副委員長】今後、当委員会で適切な評価ができるような指標を検討いただきたい。

第2期総合戦略に関する事業の評価（2. 企業版ふるさと納税について） p30

【委員】主要スポーツ施設の利用者数について、総合計画の方で進捗度はaとなっており、ここではBとなっている。なぜ違うのか。

→【事務局】総合計画は「進捗度」、総合戦略は「効果の評価」による基準で判断しているため、必ずしも同じ結果にはならない。

まとめ

【副委員長】評価の根拠について、質問や意見があったように思う。評価指標そのもののあり方については、ここで議論するものではないので、後期基本計画の見直しの際に十分検討いただきたい。

○評価結果

別添「第2次野洲市総合計画・総合戦略施策評価（令和4年度分）【評価結果】」の通り。

5. その他

会議中に出し切れなかった意見があれば、意見シート等を用いて事務局まで提出いただくよう説明。

6. 閉会